



きじむんの どう〜ちゃむ ばにい〜  
**あなたの知らない琉球大学の秘密編**  
**第2回 よろしく! 「びぶいお文学賞」!**

ハイタイ&ハイサイ! きじむんやいびーん! いよいよ夏だね! 熱中症に気を付けてね!  
 今回は、琉球大学附属図書館で募集中の「第13回琉球大学びぶいお文学賞」についてだよ!

1. 「琉球大学びぶいお文学賞」とは

琉球大学びぶいお文学賞は、琉球大学に在学する学生を対象に平成19年度に設けられました。第7回(平成25年度)から、応募資格が沖縄県内の大学生(高等専門学校の場合は本科4年次以上)及び大学院生に拡大されました。歴代の受賞者の中には現在も積極的な創作活動を行っている方がいます。

「第13回琉球大学びぶいお文学賞」は既に募集が開始されています。小説部門・詩部門ともにメ切は令和元年10月31日(木)必着です。詳しい応募の方法については、附属図書館Webサイトやポスターでご確認ください。

2. あなたも「びぶいお文学賞」に挑戦してみよう!

ここでは、これまでの応募作品に対する選考委員のコメント(『びぶいお文学賞作品集』選評)のなかから、毎回の選評で共通している注意点についてまとめてご紹介します。作品集は「琉球大学学術リポジトリ」にてPDFで全文公開されています。受賞作の選評だけでなく、選外となった作品の選評についても是非ご参考になさってください。

・「虚構」を描く上での「リアル」を意識しましょう

小説はその多くがフィクションですが、「虚構(作り上げたこと)」を描くことと「荒唐無稽(でたらめ)」であることは同じではないということが、先生方の選評に何度かでてきます。第10回小説部門の選考委員である大城貞俊先生は作品集の選評のなかで「小説はフィクションであるとはいえ、細部にリアリティがないと感動や発見からほど遠い言葉遊びになってしまう。」と述べられています。

・関係者は、規定の枚数(20枚)ぎっしりの読みごたえある作品を期待しています。

小説部門について、規程枚数が20枚以内(第13回は「20枚程度」です)とありますが、毎年その半分に満たない枚数の作品の応募があります。もちろん、分量に見合った内容であれば、枚数が少なくても選考される可能性はありますが、これまでの選評を見ても、規定の枚数の中にぎゅっと作者の世界がひろがる「読み応えのある作品」が求められているようです。

・推敲しましょう

毎年の選評のどこかにコメントがありますが、誤字・脱字、改行後の字下げ等、文章を書く上で基本的なことが見落とされていると指摘されています。また、「主人公の名前が途中から変わったり、(中略)年齢と時代が物語の進行と整合性がとれていなかったり(第10回小説部門:大城先生)」と、推敲が不十分な作品があります。

せっかくの作品です。応募の前に余裕をもってじっくり推敲しましょう。

沢山のご応募をお待ちしています!! 過去の受賞作品は右側のQRコードから全作品読むことができます(執筆担当CT)

**第13回 琉球大学びぶいお文学賞**  
 募集締切: 令和元年10月31日(木)必着  
 期 間: 令和元年12月上旬予定

**【応募資格】** 本県(沖縄県)に在住する大学生・大学院生・短期大学・高等専門学校に在学する学生(専攻の専攻、年齢4年次以上)及び大学院生。  
 ※ただし、募集において受賞となった作品の権利は、同一部門に応募した作品とは異なります。

**3. 応募資格**  
 ・本県(沖縄県)に在住する大学生・大学院生・短期大学・高等専門学校に在学する学生(専攻の専攻、年齢4年次以上)及び大学院生。  
 ・ただし、募集において受賞となった作品の権利は、同一部門に応募した作品とは異なります。

**4. 応募方法** 応募作品はWordやPDFファイル形式で提出してください。  
 ・応募部門は小説部門・詩部門とし、1人1作の応募となります。  
 ・小説部門の応募作品は、1編(約10頁)とし、1人1編での応募となります。  
 ・小説部門の応募作品は、1編(約10頁)とし、1人1編での応募となります。  
 ・応募作品は、原稿用紙に打ち込んで提出してください。  
 ・応募作品は、原稿用紙に打ち込んで提出してください。  
 ・応募作品は、原稿用紙に打ち込んで提出してください。

**【小説部門】**  
 受賞作1編 副賞=海外旅行(20万円以内)  
 またはノート型パソコン(15万円以内)  
 ※海外旅行代金は、応募作品の選考結果が発表された後、選考委員の選定により決定します。選考結果が発表された後、選考委員の選定により決定します。

**【詩部門】**  
 受賞作1編 副賞=図書カード5万円分  
 佳作2編 副賞=1編につき図書カード1万円分

**【選考委員】**  
 小説部門/西森和広(国際地域創成学教授)、武藤清彦(教  
 育学教授)、村上隆子(沖縄国際大学准教授)  
 詩部門 /松浦勉夫(山崎口語賞受賞詩人)、  
 宮崎純(山崎口語賞受賞詩人)

**【お問い合わせ】**  
 〒903-0214 沖縄県高円寺字千原1番地  
 琉球大学附属図書館 保存公開係  
 電話: 098-895-8697  
 Email: tokiawa@lib.ryukyuu.ac.jp

